

東日本大地震

災害ボランティア

活動報告

災害ボランティアとして大事なこと



御代田町、御代田町区長会、御代田町社会福祉協議会の連名により、被災地支援として義援金募集、救済物資の募集および物資の搬送を行い、今回、災害ボランティアとして、御代田町から12名で被災地への人的支援を行いました。活動日は移動日を含め、5月10日(火)～14日(土)の5日間(活動日は3日間)でした。その中から、災害ボランティアに参加した経験から少し記述いたします。

私たちは、岩手県大槌町および山田町へ入らせていただきました。いずれの町も沿岸部に面しており、メディアなどで取り上げられるようながれきの山がずっと広がり、その中に垣間見える生活感のある、壊れた電化製品や汚れたぬいぐるみなどを見ると、確かにそこに地域の方々の生活があったのだと、自然に涙がこみあげてきました。さらに、海水に浸り、腐敗などが進んだ土砂からは悪臭が漂い、衛生的にも悪い環境の中にも関わらず、ずっと暮らしてきた地域で懸命に復興へと歩み、また、地域や国を越え、手を携えて協力してくれる方々を拝見して、少しずつではありますが、確実に復興へ向かっていることを感じました。

私たちの活動としては、個人宅の土砂のかき出しや掃除、洋服などの整理を中心として、お手伝いしました。その中で、作業することに気がとられがちですが、地域の方との

コミュニケーション(心のケア)が大切なことだとわかりました。災害ボランティアは、あくまでボランティアであり、専門的な知識があつて支援ができるわけではありませんが、地域の方とのコミュニケーションをとりながら、お手伝いができるという点では、私たちの活動は長期化する復興に対して、今後とも継続的に支援を図ることが必要だと感じています。

地域のつながりが深い地域に入り、遠く離れた場所に住んでいる私たちに、快く受け入れてくれたことに対し気持ち良く活動ができ、また、被災範囲が非常に広い中で微力ながらもお手伝いさせていただきましたが、少しでも私たちの活動が地域を越えた支援としてつながったのではないかと感じていきます。

最後になりましたが、災害ボランティアをバックという形で進めていくなかで、町をはじめ多くの方々、関係団体等のご協力をいただき、このような貴重な活動ができましたことに対し、この場を借りて感謝いたします。活動報告といたします。東北の復興に際しては願ってやみません。また、亡くなられた大勢の方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

問い合わせ先

御代田町社会福祉協議会

(32) 1100

防災行政無線の設置工事が始まります

町では、広報やまゆり3月号でお知らせしたとおり、防災行政無線による新たな緊急情報伝達システムの構築に向け施設整備工事を開始します。

防災行政無線施設整備工事の概要

町では、平成24年4月運用開始に向け、防災行政無線を整備していきます。

整備工事の概要は、無線の送受信設備など、施設の心臓部となる親局を役場庁舎内に設け、この親局からの情報を町民の皆さまへ伝達する設備として、屋外拡声スピーカー施設を町内全域でおおむね区単位に66箇所設

置する計画です。この屋外拡声スピーカー施設は、概ね区単位に設置する予定です。(下記配置予定図参照)

7月以降、それぞれの地区にこの屋外拡声スピーカー施設整備のため工事に着手していきます。町民の皆さまにおかれましては、工事へのご理解ご協力をお願いいたします。



イメージ図

防災行政無線 屋外拡声子局配置予定図



問い合わせ先 総務課(内線25・26)